

血液・一般検査

■ 多項目キーボード（骨髓像・白血球像用）

KA015・016

多項目キーボード KB220/KB200

キ-配列を自由に設定できるキーボードです。
骨髓像・白血球像用キーボードとして最適です。



- キー数58キー(KB220)、20キー(KB200)構成です。
- Windows標準のUSBキーボードとしてパソコンUSBポートに接続します。
- WindowsPCで各キーの配列作成・設定・変更が行えます。
キー配列はパソコンのUSBポートに接続して設定を書き込みます。
キーボードへの書き込みに特別な専用書き込み機は不要です。
- 1×2や2×2サイズの連結キートップも使用できます。

Windows11対応

本キーボードは、32ビットおよび64ビット版 Windows11でキーボードとしての動作が確認されております。

キートップについて

キートップは透明キヤップ(クリアキーキャップ)構造となっており、割り付けた内容をプリンタで印刷し、キートップ内に挿入できます。

コードNo.	KA016	KA015
形式	KB220	KB200
インターフェイス	USB	
キー数	58	20
電源供給方式	USBポートより供給	
外形寸法	W200×D230×H42mm	W108×D177×H37mm
本体色	白	白
対応OS	Windows11	
付属品	キートップ（テンキー、1×2、2×1）、ブラック Windows用キー設定プログラムCD-ROM（Windows11） 日本語取扱説明書	
価格	57,000	40,000

ソフトウェア：骨髓像

ソフトウェア：骨髓像カウンター・白血球像カウンター

KA021-01

骨髓像カウンター用ソフト M-1A

- ・従来高価で大きくて重たい計数器でしか出来なかった骨髓像のカウントを、お手持ちのWindowsパソコンで計数できます。
- ・48項目までを任意のキーに割り当て、グループ別に色分けを設定して表示ができます。
また減算はSHIFTキーを押しながら該当項目キーを押すだけなど、操作に各種の工夫をしています。
- ・各項目の%とMye系・Ebl系別計数および%とM/E比をリアルタイム表示します。
- ・最大25行までのコメントが設定できる他、1行フリー入力欄を設けました。
- ・基本は500カウントですが、500カウントで足りない場合1,000カウントに瞬時に切り替えられます。
- ・独自の処理方法により、半端な計数でも%の合計が必ず100.0になるようにしてありますので、必ずしも500カウントする必要はありませんし1,000カウントの場合でも途中で終了できます。
- ・データ印刷はワンタッチボタンでできます。
- ・データの保存はテキストファイルで簡単に編集でき、LANで受け渡しができます。
- ・外部出力ができます。(オプション)



開始画面

検査日付の設定と各種マスターの設定が行えます。

マスター設定は項目・コメント・ホスト通信・データ格納フォルダを用意しています。

カウント画面

項目に割り当てたキーを押す都度カウントアップします。

カウントダウンはSHIFTキーを押しながら割り当てたキーを押します。

常に正確な%計算を表示します。

価格 350,000

ソフトウェア：白血球像

ソフトウェア：骨髓像カウンター・白血球像カウンター

KA020-02

白血球像カウンター用ソフト H-1A

- お手元のパソコンのキーボードを使って白血球像の分類入力ができます。
- 分類キーは16項目まで、コメントも16項目までを任意のキーに割り当てでき、色分け表示ができます。
減算はSHIFTキーを押しながら該当キーを押すだけなど、簡単な操作ですむよう使い勝手を工夫しています。
- %は小数以下1位と小数点以下なしを任意に選択できます。
- 100カウントで足りない場合200カウントに瞬時に切り替えられます。
- 独自の処理方法により半端な計数でも%の合計が必ず100になるようにしてありますので、必ずしも100カウントする必要はありませんし200カウントの場合でも途中で終了できます。
- EBLなど%計算でない項目の設定も任意にできます。
- ワンタッチで画面印刷できます。
- データの保存はテキストファイルで簡単に編集でき、LANで受け渡しもできます。
- 外部と通信が可能。結果出力の他、仕様にしたがってホストから送信のCBCとDIFFの結果を取りこみ表示できます。（オプション）



開始画面

検査日付の設定と各種マスターの設定が行えます。

マスター設定は項目・血算データ表示順・ホスト通信・データ格納フォルダを用意しています。

カウント画面

項目に割り当てたキーを押す都度カウントアップします。

カウントダウンはSHIFTキーを押しながら割り当てたキーを押します。

EBLや赤血球系のコメントはカウントと別個に入力できます。

価格 150,000